

秋田に新しい風を。

安心して暮らせる、
そして夢と希望を持てる秋田を創る。

川^{かわ}辺じゅんのすけ

皆様のおかげで、初の議会で一般質問と
総括質疑に立たせていただきました！

県議会
活動報告

一般質問



子どもたちに「人口減少を止める」ではなくて、希望を抱けるような秋田を示してほしい。

知事 私が思い描く秋田は、誰もが健康に暮らしながら働き、それぞれの楽しみ方を見つけて幸せを感じ、**自らが望む形で次の世代につなぐことができる社会が、**全県にできている秋田である。秋田の強みを生かした産業の育成や先進的なライフスタイルの確立などに取り組んでいく。

農林水産業は秋田の基。今やるべきことは、オール秋田で農林水産業の復活・振興を図るべきではないか。

知事 「農林水産業の発展なくして秋田の未来はない」との強い決意を持っている。農林水産業は、野心的な目標を立てるべき伸びしろの大きい分野の一つ。生産基盤の強化や輸出の拡大などを通じて、新しい秋田の未来を切り拓いていく。



総括質疑の様子

総括質疑



これまで秋田のスポーツは県外から高校生を呼び込んできたが、令和7年には秋田から出ていく生徒数の方が多くなってしまった。高校入試制度の見直しをここで決断してほしい。

議長 議会終了後速やかに、高校入試制度に関する検証委員会を立ち上げる。年度内に3回ほど会議を行い、来年3月までに結論を得たい。

「農業教育の最先端」という特色を作ることで、人を呼び込める。これを果たすためにも、金足農業高校の県立大学の附属高校化という新たな一歩に向けた議論を進めるべきではないか。

知事 附属高校化に当たっては検討事項がまだ多いものの、農業教育が非常にスポットを浴びていると感じている。附属高校化は一つの良い提案であり、附属高校化ありきではないにせよいろいろな可能性・課題を今後開催するシンポジウムで考えていきたい。

PROFILE 川辺じゅんのすけのプロフィール

1982年7月秋田市生まれ(43歳)。東小学校、城東中学校、秋田高校に通い、慶應義塾大学法学部法律学科・法学研究科修士課程を経て、2008年4月から農林水産省で勤務。

農村振興や土地改良、米政策を担当し、「前例がなければ作る」ということを学びました。また、警察庁や財務省にも出向し、在ドイツ日本国大使館ではドイツで秋田県産品のPRに走り回りました。

2023年7月の大雨で被害を受けた地元を見て、「かけがえない場所をいつまでも残すために、今度は秋田で頑張りたい」と決意。2024年12月に戻ってきました。現在2人の子とも広面に在住。



川辺じゅんのすけ事務所

〒010-0041 秋田市広面字広面63-1
電話 080-1021-4702
メール info@kawabe-junnosuke.com



いろいろと
書いています！



発行／令和7年9月10日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集／秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号【県議会内】

県民と自由民主党会派をつなぐ



2025.09 No.47

秋田を守り、暮らしを豊かに

ごあいさつ

秋田県議会自由民主党会派 会長 加藤 鉦一

日頃より秋田県議会自民党会派に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

参議院選挙の熱い戦いが終わり、わが自民党公認の中泉松司候補は大変厳しい残念な結果となりました。この選挙において支援して頂きました県民の皆様にご心よりお礼申し上げます。また、わが党がいただいた期待とご批判など真摯に受け止め、物価高対策、持続可能な農林水産業政策の確立など県政課題にも対応してまいります。

私たち県議会自民党会派は県選出自民党国会議員とともに、県民の皆様の暮らしを守るため、これからも全力で対処して参りますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



初めまして、皆様に支えていただいたおかげで今年の4月から県議会議員を拝命した川辺じゅんのすけと申します。本当にありがとうございました。

「秋田と元気にしたい」という思いで、約17年間勤めた農林水産省を退職し、10歳児と4歳児を連れて故郷秋田・広面に戻ってきました。「秋田の強みを伸ばす」その思いで、どんなことにも「笑顔で」チャレンジしていきます。どうか皆様、これからもいろいろとお教えいただけると嬉しいです。

秋田に新しい風を吹かせます！頑張ります！

秋田県議会議員 川辺 じゅんのすけ